

第2回 『畦塗り機見学、作業計画確認、脱芒、筍取り』

と き 平成23年4月9日(土) 9:30 - 16:00

ところ 谷っ戸ん田、谷っ戸ん田小屋

天 気 雨 ときどき 曇り

参加者 松本夫妻(午前)、松下(午前)、石田、チャリママ佐々木、梅下母子、久保、磯、園主
(大人 9名、子供 3名)

午前

雨模様のため、みんなの集り悪し。谷っ戸ん田水路にて整備状況を確認していたところ、テツさんがなんか凄い機械とともに参上。「畦塗り機」というらしい。トラクター後に連結し耕耘機の要領で畦を作っていく。みるみるうちに出来上がっていく畦。農業用機械って凄いです。

水路横と田んぼ下面の畦はこれで完了してしまいました。4辺のうち2辺が終り、2辺が残っています。

10:30ごろ、小屋に移動。

来週以降の作業、特に米作りに関する作業の確認をしました。

もち米の育苗についていろいろと議論いたしましたが、今年分のもち米苗についてはテツさんが種籾(満月)の入手を手配して下さっており、うるち米同様に消毒、芽出しまでを考えてくれていることがわかり、例年通りの段取りで(田植えまではテツさんに依存するかたちで)実施することとなりました。

米班は、来年度に向けて育苗、特に保温折衷苗代の勉強に取り組んでいきます。具体的には、この苗代で米作りをしてらっしゃる林さんのやり方の見学をさせていただこうと思っております。

お昼

各自、テキトーにお昼を調達。小屋で食べました。和久さんがハチミツを持ってきてくれました。

松本さん、松下さんが離脱。

午後

テツさんから、種籾の野毛をとる作業を手伝ってくれといわれ喜んでお手伝い。野毛とは、種籾の先にちろんと付いているヒゲのことで、芒(ぼう)ともいうらしい。野毛がついたままの籾は、種まき機にひっかかって効率が落ちるためこれを切るわけです。

野毛とりには、脱芒機という機械を使う。上から種籾を入れ、機械を通過させると野毛の取れた籾が下から出てくる。その間、適当なタイミングで野毛つき籾を補充し、溜った野毛なし籾を袋に移動する。やることは基本的にこれだけ。スピードはかなりゆっくりで、60Kg分を処理するのに60分ぐらいかかった。

途中、石田さん、久保さん、佐々木さん、梅下3兄弟が竹林にスコップ、クワを持って作業下見。残念ながら収穫はありませんでした。

野毛とり作業完了後、機械の片付け。掃除をしていたところに、テツさんがトラクターを持って登場。故障して動かなくなっていたトラクターを譲り受けたとのこと。洗車の手伝いをしました。

16:00ごろ、解散としました。

次回作業は、4/16(土) 9:30 - 谷っ戸ん田です。田起し作業を行います。

追伸:

雨天時の作業中止連絡について次のようにルールを定めたいと思います。石田さん了解済みです。

- (1)雨天時も、原則は作業有りです。
- (2)各作業班内で連絡を取り作業する/中止するの確認をします。当面は米班の作業計画が中心になるので米班内での意志確認が重要になります。(3)(4)の連絡は当面は米班担当者のみが行います。
- (3)班内で中止の合意ができた場合、担当者は園主(テツさん)にお伺いを立てます。園主の意見がやはり作業すべきであれば原則これに従います。
- (4)担当者は、以上の経緯を8:00前に石田さんに報告し、意見調整します。
- (5)作業中止の場合は、8:00を目途に石田さんから谷っ戸ん田MLに連絡を入れてもらいます。連絡がない場合は、作業するものとして参集して下さい。

以上

報告者: 磯